

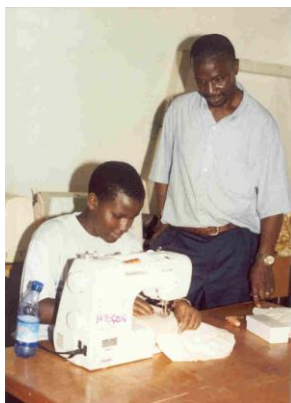
～安房からウガンダへ、支援と交流のあゆみ～



アフリカのウガンダという国をご存知ですか。
赤道直下の内陸国で、「アフリカの真珠」といわれる美しい国です。けれども長く続いた独裁政治により経済が破綻し、政権交代後も内戦の影響が強く残り、今なお貧困が続いています。



1994年、旧千葉県立安房南高校では、地域の戦争遺跡から平和を考える授業を受けたことを機に、ウガンダではエイズと孤児が蔓延し、教育を求めていると知り、ウガンダの子どもたちを支援するバザーや募金の生徒会活動を始めました。現地のNGO「ウガンダ意識向上財団(CUFI=Consciousness Ugandan Foundation, INC.)」を窓口にして地道な支援活動を毎年続けた結果、2001年には「AWA-MINAMI(安房南)洋裁学校」がつけられました。下の写真は、安房南高校のミシンを活用した職業訓練の様子です。この活動は、安房南高校の統廃合を経て、千葉県立安房高校JRC(Junior Red Cross:青少年赤十字)部に引き継がれましたが、昨年より継続が困難となってしまいました。



一方、市民活動としては、NPO法人安房文化遺産フォーラムの呼びかけにより、「安房・平和のための美術展」実行委員会が賛同し、第2回展から作品収益や募金等のチャリティ基金を寄付していただき、今年で8年目となりました。会場内にはウガンダの子どもたちの絵も展示され、安房地域とウガンダをつなぐ“友情の証”となっています。

来年、安房地域の高校生から始まったウガンダ交流・支援活動は、20年の節目を迎えます。ウガンダの今…。あの頃の子どもたちは今…。この機会に、長い間にわたって積み重ねてきた活動を振り返るとともに、今後の交流や支援のあり方を見つめ直し、さらに多くの皆様のご理解を得て、お力を貸していただきたいと思います。

【略年表】

- 1986 ウガンダ意識向上財団(CUFI)設立
- 1994 千葉県立安房南高校がウガンダ支援を開始
CUFIのシュアート・センパラ氏、同校に来校
- 1999 安房南高校の愛沢伸雄教諭(当時)ウガンダ訪問
- 2000 CUFIのセンパラ氏、安房南高校に再来校
- 2001 AWA-MINAMI(安房南)洋裁学校ウガンダに設立
- 2004 NPO法人安房文化遺産フォーラム設立
ウガンダ支援と、市民活動への呼びかけを開始
- 2006 第2回安房・平和のための美術展、作品収益や募金等チャリティ基金の一部を寄付(以来毎年)
- 2008 安房南高校の統廃合により、千葉県立安房高校JRC部がウガンダ支援活動を引き継ぐ(～2012)

【支援先(CUFI)の活動内容】

- ① アワミナミ(安房南)洋裁学校
職業訓練校として、若者の自立を支援
- ② チタリア小学校
子ども(孤児含む)の就学・教育支援
学校給食プロジェクトの実施
- ③ カウムトレーニングセンター
地域の人々とともに、持続可能な農業を
目指す農村開発
- ④ アメージング・グレイス小学校
孤児の就学・教育支援、
学校給食プロジェクトの実施



- ◆ NPO 法人安房文化遺産フォーラム <http://bunka-isan.awa.jp/>
- ◆ Blog 安房南ウガンダ交流・支援活動 <http://awauganda.wordpress.com/>
 - ◇ 愛沢伸雄 (NPO 法人安房文化遺産フォーラム代表)
 - ◇ 金子麻美 (安房南高校 H.8 年度卒) ◇ 河辺智美 (安房高校 H.20 年度卒)